

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 3 月 25 日

事業名称		市内道路改良事業費 [地域幹線道路の整備]							
予算科目	款 8	土木費	項 2	道路橋りょう費	目 2	道路新設改良費	事業番号	1	
事業の種別		<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名		土木 課		土木 係		課長名		寺島 由紀夫	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	4 - 4		
【施策名】 道路・交通の整備						総合計画書(ページ)	89		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	沿線住民及び通行者			→ 地域幹線道路の路線延長					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	安全かつ快適な通行を図る。 沿線住民からの道路振動に対する苦情を解消する。			→ 整備路線延長(累計)					
指標の推移	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	市内幹線道路の舗装補修整備や道路改良整備			→ 整備路線延長14,477.9m					
	対象指標		①の数値	単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
					平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標
成果指標		②の数値	m	24,201.6	24,201.6	24,201.6			
目 標		②の目標値							
		目標値設定の考え方							
活動指標		③の数値	m	544.1	468.8	976.7			
3 経費	事業費(実績)		円	134,093,924	77,806,440	100,074,400	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	一般財源		円	100,783,924	62,216,440	87,154,400			
	特定財源		円	33,310,000	15,590,000	12,920,000			
	(うち受益者負担)		円	0	0	0			
	所要人数(再任用以外)		人	0.5	0.5	0.5			
	所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0			
職員人件費(再任用以外)		円	4,126,500	4,122,000	4,155,000				
職員人件費(再任用)		円	0	0	0				
事業費+人件費		円	138,220,424	81,928,440	104,229,400				
4 環境変化等	(1) 開始年度		14 年度						
	(2) 環境の変化		大型車両の交通量の増加						

事業名称	市内道路改良事業費〔地域幹線道路の整備〕				
担当部署・課長名	土木	課	土木	係	課長名 寺島 由紀夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	沿線住民や通行人から舗装を直してほしい等の要望が多く寄せられている。	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点		
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）	
	労務単価や諸経費等の上昇により、当初予算の範囲では工事が追いつかない。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・国や都の補助金を活用し、工事を進めた。 ・市内道路の損傷状況を把握するため、路面性状調査費用を令和2年度当初予算に計上した。 	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）	
<ul style="list-style-type: none"> ・整備すべき生活道路が多々あるが、幹線道路しか整備できない。 ・早急に整備すべき箇所があっても翌年度以降に先送りしている。 		
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	
施策名： 道路・交通の整備		
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）	
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	
	【取組内容】	
	舗装の劣化は車両や歩行者、自転車の事故を誘発するおそれがあるため、計画的整備に努める。	
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
現状の道路損傷状況の把握及び整備箇所の優先順位の決定		